大東市小中学校長寿命化計画【概 要 版】

1. 計画の目的・期間・対象施設

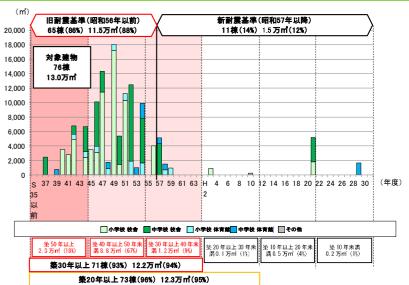
大東市の小中学校は昭和 40 年代から 50 年代の急激な人口増加に伴う児童生徒数の増加にあわせて集中的に整備されており、近年は大規模改造や改築に多額の費用など、施設の適正な維持管理が課題となっています。

そのため、市内の小中学校の老朽化等の状況を把握し、施設の今後 40 年の維持管理等に係るコストの縮減・平準化を実現しつつ、小中学校に求められる機能の確保を図ることを目的として、「大東市小中学校長寿命化計画」を策定します。

本計画は、小学校 12 校、中学校 8 校を対象とし、令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間を計画期間とします。なお、令和 2 年度は計画の実現に向けた準備期間とします。

2. 小中学校の老朽化状況

計画対象の小中学校は、築 40 年以上の建物が 11.1 万㎡ (85%) と、市の施設全体と比較して小中学校の 老朽化は特に進んでいます。(右図)



4.今後の維持管理コスト

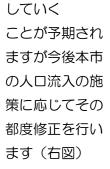
減価償却資産に基づく耐用年数である、築年数50年で改築する方法を続けた場合、 今後40年間のコストは539億円(13.5億円/年)となります(従来型)

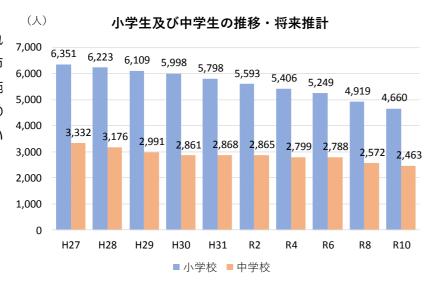
また、令和 2~11 年度の 10 年間では改築が集中しているため、10 年間のコストが 363 億円 (年平均 36.3 億円/年) となっており、年間コストが 50 億円を超えている 年度もあります。(右上図)

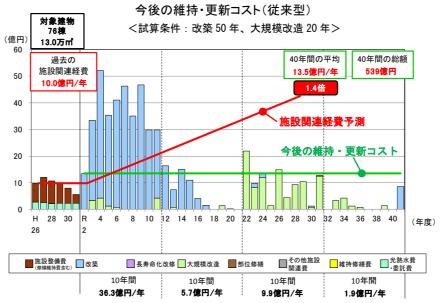
大規模改造や部位修繕を適切に行い、全ての学校施設を長寿命化型で整備を進めた場合、今後 40 年間の整備コストは 476 億円 (12 億円/年平均) と見込まれます。(右下図)

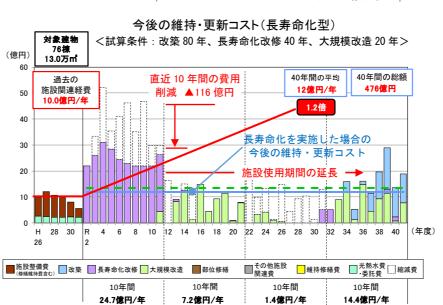
3. 小学生及び中学生の推移・将来予測

小学生、中学生の推移を見ると、近年は減少傾向にあり、平成27年度と比べて、 平成31年度は、小学生が553人(8.7%)減少、中学生が464人(13.9%)減少 しています。今後も市全体の人口減少・少子化の進行に伴い、小学生、中学生は減少









5. 長寿命化の効果

築年数50年で改築する方法を前提とした整備の場合と 比較すると、40年間の整備コストが539億円から476 億円までと63億円削減できることから、築年数50年で 改築する方法より長寿命化型で整備を進めた方が望ましい ことが分かります。

また、長寿命化を実施することで以下の3つの効果が期待できます。



6. 長寿命化の基本的な方針

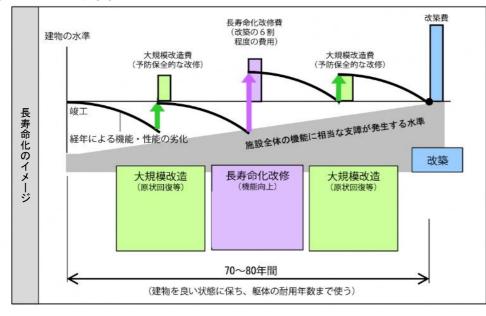
築40年以上経過した施設への長寿命化改修、築20年、60年を目安とする大規模改造などの予防保全を行うことにより、構造躯体の耐用年数を踏まえつつ、築70~80年程度使用することとします。改築せざるを得ない建物があった場合には、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。

7. 改修等の整備水準

文部科学省では、建築後 40 年以上経過した施設について、長寿命化改修による整備を推進し、 築 20 年、60 年を目安とする大規模改造などの予防保全を行いながら建築後 70~80 年程度使用 することを推奨しています。

本市においては、必要なメンテナンス等を行いながら、一定の年数が経過した後に長寿命化改修 や大規模改造などを行うことにより、構造躯体の耐用年数を踏まえつつ、各学校の特色に応じて可 能な限り長期間利用することとします。

また、中長期的な 維持管理等に係るト ータルコストの縮減 や、予算るため、構ると 実現するたであるはが が健全であるは、 がなられて工期がいない、 廃棄が少ならの排出量がでを 持っていきます。



8. 長寿命化の整備水準

長寿命化事業は築年数が40年を超えた小中学校を対象とし、その事業は、初年度に実施設計を行い、その後2年の工事期間(校舎の場合)を想定します。※体育館は工事期間を1年とします。

部位修繕は現地調査の結果、「早急に対処する必要がある」と判定された施設(部位)を対象とし、概ね令和4年からの5年間で当該部位を修繕します。
※下記計画表の期間は財政事情等により15年間とするなど延長する
の記述を含んでおります。

					含んでおり					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
南郷小学校	校舎		実施設計	①優先的な部位	修繕+長寿命化					
	体育館						実施設計	④長寿命化		
住道北小学校	校舎		実施設計	①優先的な部位	修繕+長寿命化					
	体育館		実施設計	③優先的な長寿命化						
住道南小学校	校舎	実施設計	①優先的な部位	修繕+長寿命化						
	体育館					実施設計	④長寿命化			
四条小学校	校舎							実施設計	④長寿	导命化
	体育館							実施設計	④長寿命化	
四条北小学校	校舎	実施設計	①優先的な部位	修繕+長寿命化						
	体育館		実施設計	③優先的な長寿命化						
深野小学校	校舎							実施設計	④長素	导命化
	体育館							実施設計	④長寿命化	
北条小学校	校舎							実施設計	④長≢	导命化
	体育館								実施設計	④長寿命化
氷野小学校	校舎			実施設計	②部位修繕	+長寿命化				
	体育館						実施設計	④長寿命化		
泉小学校	校舎				実施設計	②部位修繕	+長寿命化			
	体育館								実施設計	④長寿命化
諸福小学校	校舎	実施設計	①優先的な部位	修繕+長寿命化						
	体育館						実施設計	④長寿命化		
灰塚小学校	校舎				実施設計	②部位修繕	+長寿命化			
	体育館								実施設計	④長寿命化
三箇小学校	校舎							実施設計	④長寿	手命化
	体育館							実施設計	④長寿命化	
南郷中学校	校舎	実施設計	①優先的な部位	修繕+長寿命化						
	体育館									
住道中学校	校舎				実施設計	②部位修繕	+長寿命化			
	体育館						実施設計	④長寿命化		
四条中学校	校舎						実施設計	③優先的な長寿命	化	
	体育館						実施設計	③優先的な長寿命化		
深野中学校	校舎							実施設計	④長寿	
	体育館							実施設計	④長寿命化	
北条中学校	校舎			実施設計	②部位修繕	+長寿命化				
	体育館	1					実施設計	④長寿命化		
谷川中学校	校舎	1			実施設計	②部位修繕				
	体育館						実施設計	④長寿命化		
諸福中学校	校舎					実施設計		寿命化		
	体育館					実施設計	②部位修繕+長寿命化			
大東中学校	校舎	実施設計	①優先的な部位	 修繕+長寿命化		JUNGHAH!	2.3 - 2.3 - 2.3 - 4 10			
	体育館	A NORA DI	O BY JOH J. G. HIVIET				実施設計	④長寿命化		

9. 計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

計画策定時に整理したデータベースを基に、各施設の状態や改修履歴、故障の発生状況等を蓄積 していくとともに、学校施設の定期的・日常的な点検等の結果を反映していきます。それらの情報 の一元化を図り、施設の劣化状況等を最新の状態を把握することで、適切な整備を図ります。

2. 整備手法と推進体制等の取組み

整備手法については、公民連携手法など様々な手法を取り入れつつ、整備にあたっては学校施設管理の部署だけでなく、施設マネジメントや防災部局等と連携し、市の公共施設情報の共有化や、効率的・効果的な公共施設等のマネジメントを総合的に進める場づくりを行っていきます。特に、長寿命化により施設の延命を行ったことで、次の改築までの間に施設の取り扱い方について将来的な検討を行います。

3. フォローアップ

本計画については、年度ごとのフォローアップを実施し、教育を取り巻く環境や社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しの検討を行います。